事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表(公表)

公表: 2022年 2月 5日

事業所名: こどもサポート教室「 クラ・ゼミ 」大曲校

| | | チェック項目 | はい | どちらともい えない | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|--------|-----|---|----|---------------|-----|-------------------------------------|
| 環境 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 4 | 0 | 0 | |
| 体 | 2 | 職員の配置数は適切であるか | 2 | 1 | 1 | スタッフを増やし、常勤指導員を3名にしました。 |
| 制整備 | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が 適切になされているか | 3 | 0 | 1 | 今後、必要に応じて検討していきます。 |
| | 4 | 業務改善を進めるための PDCA サイクル (目標 設定と振り返り) に、広く職員が参画しているか | 4 | 0 | 0 | |
| 業 | (5) | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、 業務改善につなげているか | 4 | 0 | 0 | |
| 務改業 | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームペ ージ等で公開しているか | 4 | 0 | 0 | |
| 善 | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務 改善につなげているか | 1 | 2 | 0 | 可能な限り、教室全体で情報を公開し業 務改善につなげていきます。 |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確 保しているか | 4 | 0 | 0 | |
| | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズ や課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサ ービス計画を作成しているか | 4 | 0 | 0 | |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化さ れたアセスメントツールを使用しているか | 4 | 0 | 0 | |
| 適 | 11) | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 4 | 0 | 0 | |
| 切 | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | 4 | 0 | 0 | |
| な 支 | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | 4 | 0 | 0 | |
| 援の提出 | 14) | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適 宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成 しているか | 4 | 0 | 0 | |
| 供 | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日 行われる支援の内容や役割分担について確認して いるか | 4 | 0 | 0 | |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その 日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等 を共有しているか | 4 | 0 | 0 | |

| | 17) | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底 し、支援の検証・改善につなげているか | 4 | 0 | 0 | |
|------|-----|--|---|---|---|---|
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービ ス計画の見直しの必要性を判断しているか | 4 | 0 | 0 | |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ て支援を行っているか | 4 | 0 | 0 | |
| | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に その子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参 画しているか | 4 | 0 | 0 | |
| 関係機関 | 21) | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整 (送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか | 3 | 0 | 1 | 学校 H P などで公開されている予定表等は、適宜、印刷して確認しています。連絡調整が必要な児童に関しては個別に担当の先生と連絡を取り合い、送迎時のトラブルを未然に防ぐよう努めています。 |
| や保 | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、 子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | 1 | 1 | 0 | 現在、医療的ケアの必要なお子様はいません。今後利用がある場合には連絡体制を整えます。 |
| 護者との | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有 と相互理解に努めているか | 2 | 1 | 1 | 相談支援事業所を通して互いに情報共有を図っ ています。今後は、直接話し合えるような関係性を 築いています。 |
| の連携関 | 24) | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から 障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それ までの支援内容等の情報を提供する等しているか | 2 | 1 | 0 | 移行するお子様がいる場合には、情報を提供できるよう備えています。 |
| 係機関 | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | 3 | 1 | 0 | できるだけ多くの職員が参加できるよう機会 を検討していきます。 |
| や保護 | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | 1 | 0 | 2 | 訪問等を通して、交流の機会を検討してい きます。 |
| 番と | 27) | (地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか | 3 | 1 | 0 | 今後も積極的に参加していきます。 |
| の連携 | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子ども の発達の状況や課題について共通理解を持ってい るか | 4 | 0 | 0 | |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者 に対してペアレント・トレーニング等の支援を行ってい るか | 2 | 1 | 0 | 職員のペアトレを学ぶ機会を確保していきます。今 後も継続して、必要な支援を行っていきます。 |
| 保護 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について 丁寧な説明を行っているか | 4 | 0 | 0 | |
| 者への説 | 31) | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適 切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 4 | 0 | 0 | |
| 明責任等 | 32) | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | 3 | 1 | 0 | 今後、おはなしカフェやママカフェなどの保護 者会開催数を増やしていきます。 |

| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 4 | 0 | 0 | |
|------|-----|---|---|---|---|---|
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予 定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して 発信しているか | 3 | 1 | 0 | 公式HPやLINEによるお知らせの配 信回数を増やせるよう検討していきます。 |
| | 35) | 個人情報に十分注意しているか | 4 | 0 | 0 | |
| | 36 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報 伝達のための配慮をしているか | 4 | 0 | 0 | |
| | 37) | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | 2 | 1 | 1 | 講演会を主催し、広く地域の方を招待して いる。今後も機会を提供していきます。 |
| | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対 応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知してい るか | 4 | 0 | 0 | |
| 非 | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出そ の他必要な訓練を行っているか | 4 | 0 | 0 | |
| 常時 | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する 等、適切な対応をしているか | 4 | 0 | 0 | |
| 等の対応 | 41) | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | 4 | 0 | 0 | |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示 書に基づく対応がされているか | 0 | 2 | 1 | おやつ、食事の提供はしていません。 |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有 0 しているか | 4 | 0 | 0 | |

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果 (公表)

公表: 2022年 2月 5日

事業所名: こどもサポート教室「クラ・ゼミ」大曲校 保護者等数(児童数):9 回収数:9 割合:100%

| | / | ・ここもリホート教皇「グブ・ビミ」人曲仪 チェック項目 | はい | さちらともいえ | いいえ | ご意見、ご意見を踏まえた対応 |
|-------------|------|--|-------|---------|-----|--|
| | | アエック・現日 | 19.01 | ない | いいえ | |
| 環 境 • | 1 | 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている か | 9 | 0 | 0 | 動きがないと辛い 子供のスペースがあるとうれしい。→ご不便をおかけして申し訳ございません。今後、必要に応じて検討してまいります。 |
| 体制 | 2 | 職員の配置数や専門性は適切であるか | 9 | 0 | 0 | |
| 整備 | 3 | 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバ リアフリー化の配慮が適切になされているか | 5 | 3 | 1 | 必要に応じて検討してまいります。 |
| 適切な | 4 | 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 i が作成されているか | 8 | 1 | 0 | |
| 支援 | (5) | 活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されている か | 9 | 0 | 0 | |
| の提供 | 6 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | 1 | 6 | 2 | 日常的に学童に通われているお子様が多いため、特別な 交流機会を設けておりません。但し、長期休業中などは、 地域のお子様も参加できる教室イベントを企画し機会を提 供してまいります。 |
| | 7 | 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか | 9 | 0 | 0 | |
| | 8 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子ども の発達の状況や課題について共通理解ができてい るか | 9 | 0 | 0 | |
| | 9 | 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか | 8 | 1 | 0 | |
| 保護者 | 10 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の 開催等により保護者同士の連携が支援されている か | 3 | 5 | 1 | 講演会や保護者会(おはなしカフェ)を開催しておりますので、ぜひご参加ください。今後も、保護者同士の連携が図れるような機会を検討してまいります。 |
| への説明 | (1) | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 6 | 2 | 1 | 重要事項説明書(12)に記載の相談受付窓口がございます。また、苦情をいただいた際には、可能な限り迅速に対応してまいります。 |
| 等 | 12 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のため の配慮がなされているか | 8 | 1 | 0 | |
| | (3) | 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか | 8 | 1 | 0 | |
| | 14) | 個人情報に十分注意しているか | 8 | 1 | 0 | |
| 非常時 | (15) | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対 応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されて いるか | 8 | 1 | 0 | |

| 等の対応 | 16 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか | 8 | 1 | 0 | |
|-------|-----|---------------------------------------|---|---|---|---|
| | 17) | 子どもは通所を楽しみにしているか | 7 | 2 | 0 | ● 時間が遅い為難しくなってしまう事があるが楽しんでいる。→様々な活動を通して、より良い療育支援が行えるよう取り組んでまいります。 |
| 満 足 度 | 18 | 事業所の支援に満足しているか | 8 | 1 | 0 | 通えるようになって本当によかったと思っています。これからもどうぞよろしくお願いします。→ありがとうございます。今後も一人ひとりに合ったより良い支援が提供できるよう努めてまいります。 時間の固定はもう少しゆるくできないのか?と思います。→ご不便をおかけし申し訳ございません。1対1による個別の支援が提供できるよう、お一人ずつお時間を頂戴しております。今後、利用できる時間が増やせないか検討してまいります(利用日の振替、追加等は随時承ります)。 LINEで連絡がとれるとありがたい。→確実な方法としてお電話でのご連絡に限らせて頂いております。今後、検証し様々な対応方法について検討してまいります。 長期休暇など時間など柔軟に対応していただきたい。→ご不便をおかけし申し訳ございません。長期休業中は午前中からのご利用も可能です。いつでも、ご相談ください。 |

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。